



◇ 2020年：新しい1年が始まりました◇

1月7日（火）に始業式を行い、3学期がスタートしました。始業式当日、この1年を見通すにあたり、「一歩 前へ！」ということについてみなさんに話をしました。一人ひとりが新たな成長をめざして、勇気と自信をもって踏み出す年にしましょう。小さな一歩でも、大きな一歩でも、それぞれの歩幅で具体的に考えて動く1年にしてほしいと思います。

さて、3学期が始まって1か月が過ぎ、みなさんは冬休み明けの学校生活にもすっかり慣れてきたことでしょう。年頭に抱いた自身の今年目標の達成に向けて、日々チャレンジを続けていますか。今年は暖冬だといわれていますが、寒い日がまだまだ続きます。生活面では、体調をくずさないよう健康管理に努め、登下校時には安全にも留意しましょう。学習面では、本年度の総まとめの学期になりますから、「備えよ常に！」の精神で、早めに学習に取りかかるようにするとともに、毎日の予習・復習のリズムを大切にしましょう。そのための手立てのひとつとして、学校の取組で大切にしている「考動タイム」を今後も有効活用してください。

< 「考動タイム」を活用した家庭学習 >

「考動タイム」については、毎朝、生徒会の校内放送でその活用について伝えてきましたが、「考動タイム」とは、毎日の学習内容をふりかえるとともに、家庭での学習へと接続する取組であり、年度当初から、帰りの会の前や翌日の朝の会の前にその時間を設定してきました。帰りの会前の5分間で、一日の学習内容を確認しながら家庭学習の計画を立て、家庭で実行した後、翌日の朝の会前の10分間で、自主学習ノートなどにまとめた家庭学習の内容をもとに一日の学習のめあてをもつというサイクルですね。

毎日、このサイクルを大切に考えて実行していくことで、家庭学習の内容を学校で考える時間が確保でき、また、帰宅後も何をすることがわかっているため、スムーズに家庭学習に取り組むことができます。そして、次の日には、めあてをもって学校での学習に臨むことができます。

“今、すべきことを後回しにしない”のために、意義ある「考動タイム」にしましょう。

◇ 学校図書館を有効活用しましょう。

本校では、学校図書館の利用方法について年度当初にオリエンテーションを行い、生徒会委員会活動による開館、支援員さんによる利用分類の改善、面出し棚の工夫、ブックトラック利用、読書ノート累積、校内ビブリアバトルの開催、授業での学びの深化など、年間を通して様々な取組を多くの方にご協力いただきながら展開し、みなさんが快適に活用できる図書館（学びの深まりステーション）づくりを進めています。昼休みの開館時間中の来館人数も多く、開館と同時にめあての本を探したり、自身の学習にいかすために静かに着席して読み込んだりしている姿がたくさん見られます。図書館内での利用マナーもたいへんすばらしいです。読み解く力の習得に最適な環境の整備を行っていますので、引き続き積極的に活用していきましょう。

